

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966



<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!

2021年5月1日号 Vol. 94



亀山山頂公園美術館側登り口(撮影/桑原雄三)

ほたる祭り無料休憩所開設 中止のお知らせ



例年、山口市ほたる観賞ウィーク期間中の土曜日に開設していました「赤れんが前広場における無料休憩所」の開設は新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、残念ながら昨年に引き続き、本年も中止することになりました。ご理解の程、よろしくお願いたします。



ホタルを見に行くときは
マナーを守って楽しもう!



～西の京山口・大内文化を巡る～

「てくてくウォーキング」開催!

日時：6月6日(日) 10:00～15:00

集合場所：JR山口線山口駅(集合9:45)

定員：50名(先着順)

コース：山口駅→亀山山頂公園→藩庁門→県庁→洞春寺→五重ノ塔→雲谷庵→菜香亭→八坂神社→龍福寺→一の坂川→交通交流広場(解散)

参加費：1,000円(保険代、昼食代、お茶代含む)

申込先：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

申込締切：6月2日(水)



朝ごはんを食べよう!! をテーマに 「食育の日」イベントを開催します ～心も体も元気な1日をスタート!

日時：5月19日(水) 9:30～15:30

場所：白石地域交流センター 1階ホール

内容：日々健康に過ごすために、欠かせないエネルギーは朝ごはんから始まります!

朝食を食べない若い世代も増えていますが忙しくても、朝ごはんをバランスよく食べる工夫について、「これ1品で栄養バランスOK」のフードモデル、レシピ等を展示します。

※当日、レシピを配布しますので、ぜひお立ち寄りください。



食推だよりその41 減塩レシピ作ってませんか? ～減塩推進事業～

鶏むね肉と 春野菜の炒め物



塩のかわりに
塩麴を使ったレシピ

【材料】 (2人分)

鶏むね肉 160g
塩麴 大さじ1/2
片栗粉 大さじ1/2
アスパラガス 2本
セロリ 1本
スナップエンドウ 60g
酒 大さじ1
塩 小さじ1/5
こしょう 少々
サラダ油 大さじ1/2

【作り方】

- ①鶏むね肉は一口大のそぎ切りにし、塩麴を揉み込み、片栗粉をまぶす。
- ②アスパラガス、セロリ(葉も含む)を食べやすい大きさに切る。
- ③フライパンに油を熱し、①、野菜の順に炒め、酒を入れたらフタをして4分蒸し焼きにする。肉に火が通ったら塩、こしょうで味を調える。

☆栄養(1人分) エネルギー188kcal
たんぱく質18.6g 塩分0.9g



本誌掲載のイベントは、状況により変更または中止になる場合があります。
変更・中止の場合は、白石地区地域づくり協議会フェイスブックにてお知らせします。

「白石地区地域づくり協議会」と「よくある質問からQ」

Q1 白石地区地域づくり協議会ってなんですか？

A1

白石地区には白石地区町内会連合会をはじめ白石地区社会福祉協議会等、地区住民のために、それぞれの分野で活動されている12の団体があります。※会員団体一覧表参照

「白石地区地域づくり協議会」は、これらの団体がいっしょに話し合い、相互に連携、協力しながら白石地域全体の課題や問題等を解決する(「地域づくり」を進める)組織として平成23年に発足し、今年で11年目を迎えます。(注)組織であって団体ではありません。

協議会は会長、副会長2名ほか12会員団体の代表者として理事12名、会員団体から推薦された代議員8名、監事2名で組織されており、団体間の垣根を越えて、話し合い(協議)ができる場づくりや課題解決(地域づくり)のための事業支援を担っています。



白石地区地域づくり協議会 会員団体一覧表 (50音順)

白石小学校PTA	白石地区町内会連合会
白石地区子ども会育成会	白石地区福祉員協議会
白石地区社会福祉協議会	白石地区母子保健推進協議会
白石地区食生活改善推進協議会	白石地区民生委員児童委員協議会
白石地区青少年健全育成協議会	白石中学校PTA
白石地区体育協会	中部方面隊白石分団

Q2 白石地区地域づくり協議会では誰がどんな活動(事業)を行っているのですか？またその活動(事業)の内容はどうやって決めているのですか？

A2

協議会にはさまざまな地域課題等を話し合い、解決するため、各会員団体の推薦者等で構成された4つの専門部会(総務部会、地域振興部会、地域福祉部会、社会体育部会)があります。そして各専門部会の中で、地域づくりのための具体的な活動(事業)内容を検討し、推進していく実行委員会が立ち上がります。(※協議会組織図参照)

その活動(事業)を「白石地区地域づくり計画」に協議会の事業として位置づけ、実行委員会が中心となって進めていきます。この各活動(事業)の実行委員会は、さまざまな団体の会員や地区住民で構成される場合と、一つの団体の会員のみで構成されている場合もあります。



白石地区地域づくり計画」について &Aでご紹介します



Q3 「白石地区地域づくり計画」は何を定めた計画ですか？ また、何のために策定するのですか？

A3

白石地区地域づくり計画は、地域づくり協議会で地域の課題等を解決して住みよい地域にしてい
く(=地域づくり)ためにどうしたらよいかを話し合い、地域の目指す将来像・目標・活動方針・具体的
な活動(事業)等を定めたものです。

地域づくりは継続的に計画性をもって進めていくことが必要であり、このため計画書は5か年ごと
に策定しています。そしてこの間の活動(事業)によって目標がどの程度達成されたかの検証を行い、
次期計画の内容に反映しています。

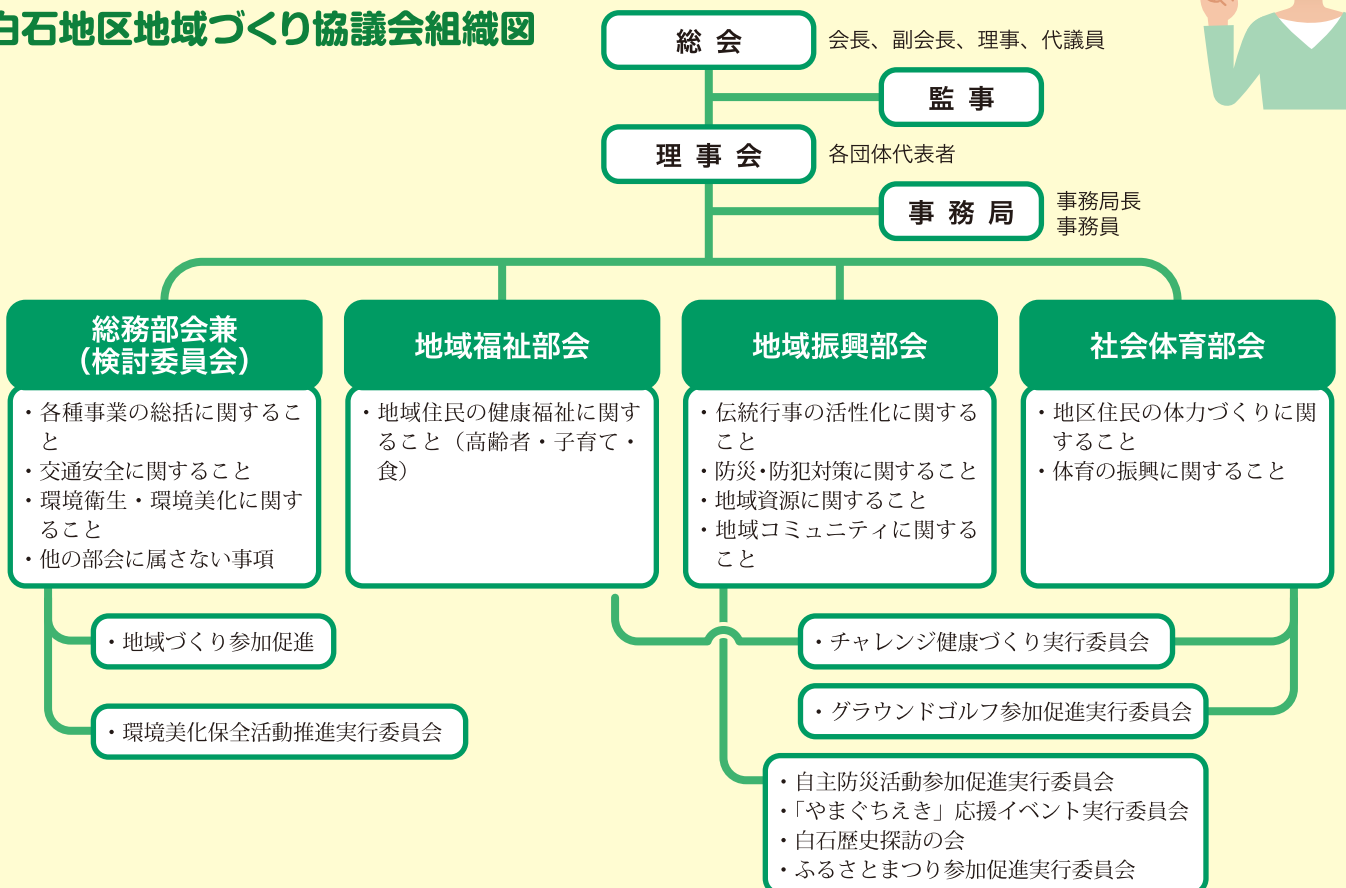
この計画書が存在することで、地域づくりの方向性を地域全体で共有することができます。

第1次 白石地区地域づくり計画	第2次 白石地区地域づくり計画	第3次 白石地区地域づくり計画
平成23年度 ~ 平成27年度	平成28年度 ~ 令和2年度	令和3年度 ~ 令和7年度

※第3次白石地区地域づくり計画(令和3年度~令和7年度)の概要は、白石地区地域づくり
協議会だより(令和3年2月1日号Vol.91)でお知らせしていますのでご参照ください。
なお、ご不明な点があれば白石地区地域づくり協議会事務局(083-941-5959)までお問い合わせください。



白石地区地域づくり協議会組織図



第2回 江戸遊学

「玄瑞君もますます慷慨、浪華を過ぎ京師に至る、愉快々々。京師の事実に悦ぶべく、懼るべし。実に天下の安危これにおいて決す。(中略) 僕の遊学議論よろしく御頼み仕り候、これ先達の議論行わるるか、行なわれざるかの處、内々先生の御心得の風をして小田村(小田村伊之助・楫取素彦)君と御相談なし下され候わば、ありがたく存じ奉り候、もしこの議論行なわれ申さず候わば手段またあるまじきことにもなし」

安政5年(1858)4月13日、当時、萩の松下村塾に通っていた晋作は、師・吉田松陰に手紙を送り、江戸遊学の希望を述べました。そこには、学友・久坂玄瑞の京都での活躍を喜ぶ様子もうかがえますが、内心は、かなり焦りが募っていたものと思われます。そこで松陰は、彼の願いを実現させるため、手元役・周布政之助に働きかけました。

こうして、7月18日、藩政府から文学修業のため、12カ月の遊学許可が下ったのでした。

「右、文学為修行、自力を以関東辺差越度候間、当秋出足より往拾二ヶ月之御暇被差免被下候様小忠太(晋作の父)より御断之趣如願被遂御許容候事」

この日松陰は、晋作に厚い信頼と期待を寄せ「高杉暢夫を送るの叙」を認めます。そこには、玄瑞と晋作のこと、国内の情勢や激励の言葉が綴られていました。

「余かつて同志中の年少多才なるを歴撰し、

日下(久坂)玄瑞を以て第一流となせり。すでにして高杉暢夫を獲たり。暢夫は有識の士なり、しかれども学問^{はや}蚤からず、また頗る意に任せて自ら用うるの癖あり。(中略) 暢夫の識を以て、玄瑞の才を行ふ、気は皆その素より有するところ、何をか為して成らざらん。暢夫よ暢夫、天下^{もと}固より才多し、然れども唯一の玄瑞失ふべからず。桂(桂小五郎・木戸孝允)・赤川(赤川敬三)は吾れの重んずる所なり。無逸(吉田稔麿)・無窮(松浦松洞)は吾れの愛する所なり。新知の杉蔵(入江九一)は一見して心与せり。此の五人の者は、皆志士にして、暢夫之を知ること熟せり。今幸いに東に在り。暢夫往け。急ぎ玄瑞を招きて之れを道ひ、且つ之れを五人の者に語れ」

20日、晋作は、松陰から贈られた手紙を携え、学友の境二郎とともに萩を発ちました。この日彼らは、防長二州の主要街道である萩往還を進み、明木、佐々並を^{あきらぎ}経て、板堂^{いたどう}峠を越え、一の坂を下り、そこから広がる山口の町を目にしたことでしょう。その風景は晋作の心にどのように映ったのでしょうか。

この日から5年後、藩政の中心地は山口へと移されます。晋作も、この町で歴史の転換劇の舞台へと押し上げられていくことになるのです。



天花から街道は直線に(山口市上堅小路)

祇園祭、山口七夕ちょうちんまつりの起源に関わる講演会開催

日時：6月19日(土) 13:30～

場所：白石地域交流センター2階 講堂

内容：第1部 「古文書にみえる山口祇園」

講師：歴史民俗資料館 学芸員 田村 杏士郎氏

第2部 「資料からみるおどり一祇園祭・ちょうちんまつり」

講師：歴史民俗資料館 学芸員 清水 美里氏

申込：白石地区地域づくり協議会 (TEL 941-5959)



参加無料! どなたでもご参加頂けます。親子一緒に参加も大歓迎!!